

閉校のご挨拶

春暖の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から本校の教育活動の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、川西高校および川西高校宝塚良元校は、平成 27 年 3 月 31 日をもって、約 67 年の歴史に幕をおろします。去る 3 月 8 日の閉校式には、来賓の皆さまをはじめ、同窓生や旧職員等、200 名を越す多数の皆さまにお越しいただき、共に川西高校並びに川西高校宝塚良元校との別れを惜しみました。

振り返ってみますと、川西高校は、終戦間もない昭和 23 年 10 月 15 日、独立定時制高校として、旧川西町に中心校をおき、中谷分校、六瀬分校、西谷分校がそれぞれ設置され開校しました。開校当時は、まだ戦後の混乱の時代でありましたが、わが国の復興には教育が不可欠であるとの信念もった諸先輩方により、川西市における最初の県立学校として設立されたのです。その後、分校の統廃合を行い、現在の川西市加茂 3 丁目に新校舎を構え移転してきたのは昭和 50 年のことでした。昭和 55 年には、兵庫県立網干高等学校通信制課程協力校の指定を受け、今日まで、多様な学びの場を提供し続けて参りました。

一方、宝塚良元校は、昭和 24 年 4 月 10 日、兵庫県立尼崎高等学校定時制課程良元分校として開校しました。その後、兵庫県立尼崎南高等学校良元分校を経て、平成 13 年には兵庫県立川西高等学校宝塚良元校となり、宝塚市内唯一の定時制課程の高等学校として県民の皆様の期待に応えて参りました。

この度、働きながら学ぶ生徒だけでなく、不登校傾向のある生徒や中途退学をしたもののもう一度学び直そうという生徒等、多様なニーズをもつ生徒に対応するため、多部制単位制高校である阪神昆陽高校に生まれ変わることとなりました。本校は、「遵守・勤勉・自立」の校訓のもと、一人一人の生徒に寄り添った教育を推進して参りましたが、この歴史と伝統は阪神昆陽高校に引き継がれるものと確信いたしております。

最後になりましたが、川西市・宝塚市をはじめ兵庫県教育委員会の事務局の皆様・県立学校の皆様さらには地域の方々には創立から今日まで本校教育への多大なご協力をありがとうございました。心より厚くお礼申し上げます。皆様の今後益々のご健勝とご活躍を祈念致しまして、閉校に際しての挨拶とさせていただきます。

平成 27 年 3 月 25 日

兵庫県立川西高等学校・兵庫県立川西高等学校宝塚良元校

校長 岡 克也